

No 111  
2023.1.20  
発行 長野県小布施町議会

# 議会だより お・ぶ・せ



# 12月会議 一般会計・特別会計補正予算を可決

## 総務・産業常任委員会

## ■議案第62号 地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

- Q 退職金の60歳及び再任用職員における65歳における算定方法は。
  - A 60歳退職時に受け取り継続で再任用職員の場合、退職金は支給しません。
  - Q 再任用職員の場合降給（7割）になるが、職員組合等への説明や交渉は。
  - A 説明や交渉は未だ実施していませんが、今後進めていきます。
  - Q 降給になることから、再任用を希望する者がいるのか伺います。
  - A 再任用職員は従前から定額であり、大きな制度変更とは考えていません。
  - Q 定年前再任用短時間勤務職員の働き方について、具体的に勤務時間、勤務日数等は決定していますか。
  - A 今後、具体的に詰めていきます。

## ■議案第63号 小布施町議会議員及び小布施町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例 の一部を改正する条例

- Q 金額のアップ率が各々相違しているのはなぜか。

A 個々のアップ率の相違の要因は国に準拠したもので、推測ですが各物価率の相違が各々に反映、勘案され決定されたものと承知しています。

## ■議案第64号 小布施町職員定数条例の一部を改正する条例について

- Q 定数「118」から「145」に引き上げる理由は。

A 定数以内での定数改正の主旨であり、各課等からの積上げ職員数、望ましい上限定数の枠として計上しました。なお、現定数が適正か云々は難しいですが、今後の多様な行政需要に対応するための体制強化を図ります。

Q 145人への増員改正であるが真に必要な人数は。

A 予算が許せば改正定数はありがたい。135人は必要人数と考えている。

Q 職種別、年齢別に配慮した採用等の考えは。

A まずは、職員の年齢層における適正バランスを整えたいと考えています。順次職種別等を進めています。

Q 定数「118」から「145」への3割弱の職員増を伴う一部改正は、厳しい行財政下で如何と考えます。



年頭のご挨拶

久本芳四譜会譜長

年頭のご挨拶 小布施町議会議長 小林 一広

皆様、新年あけましておめでとうございます。輝かしい年頭にあたり、議会を代表いたしまして、新春のご挨拶を申し上げます。皆様におかれましては、心新たに新春をお迎えし、お健やかにお過ごしのことと存じます。

日頃は、議会に対しましてご理解、ご支援をいただきておりますことに心より感謝申しあげます。

町民の皆様と共に今年も新しい年をお祝いできること誠に嬉しく思います。

昨年も新型コロナウイルス感染症に振り回された一年でした。

5回目のワクチン接種が始まっていますが、今年も気を緩めることのない感染症対策の必要性を強く感じます。

昨年は、ご開帳、町内においても御柱と大きな行事も執り行われ、また、町の行事といたしましても六斎市が三年ぶりに開催され町民の皆様と楽しむことができました。今年はコロナウイルス感染症の収束を切に願います。

新型コロナによる影響だけでなく、ロシアのウクライナへの侵攻、地政学的リスクの高まりにより原油・資源・穀物など価格高騰、また、為替の問題も絡みゼロ金利政策をとつて日本において賃金を

は上がりらず物価だけが高騰します。国际情勢が実生活にこんなにも直接影響を与えている今 日、小布施町の経済の再生も進化により私たちの情報がデータ化されサービスへの向上へと生活に密着した形で進行しているのも事実です。

川の災害対策、災害による農地の保護も、環境政策の重要性など、また、少子高齢化等の2030年・2050年問題への対策と重要課題が山積みです。

桜井町政の三年目も始まりました。小布施町のリーダーとして小布施町を更なるステージへと導いていただきたいと思います。

小布施町議会といたしましてもこれらの課題を町民の皆様とともに、町長をはじめ行政の皆様とともに、共創・共進・共栄へと議会も積極的に参画し、良い年にしていきたいと思います。

今年は、統一地方選挙の年であります。4月には県議選、小布施町議会議員選挙と行われるわけですが新たな変革も予想されます。民意を反映できる議会でありたいと思います。

町民の皆様方のご健勝とご多幸を、また、小布施町のますますのご発展をご祈念申し上げまして年頭のご挨拶とさせさせていただきます。



鈴木利一	事務局長
寺島弘樹	議員
中村雅代	議員
水野貴雄	議員
関 良幸	議員
渡辺建次	議員
監査委員	
小林正子	議員
小西和実	議員
副議長	
小林一広	議員
議會運營委員長	
大島孝司	議員
竹内淳子	議員
鈴木貴子	書記
政策立案常任委員長	
福島浩洋	議員
小渕 晃	議員

# 12月会議

## 社会・文教常任委員会

- 議案第69号 令和4年度小布施町国民健康保険特別会計補正予算（62万円）
- 議案第70号 令和4年度小布施町介護保険特別会計補正予算（3,552万円）



## 人事案件

小布施町農業委員会委員の任命についての同意

シゲユキ 小林茂幸 昭和42年1月3日（56歳） 中条自治会 任期 令和5年1月1日から令和6年5月12日

令和4年12月会議 議案採決状況一覧表

審議議案	寺島 弘樹	水野 貴雄	関 良幸	竹内 淳子	中村 雅代	福島 浩洋	小西 和実	関 悅子	大島 孝司	小渕 晃	渡辺 建次	小林 正子
議案第62号 地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第63号 小布施町議会議員及び小布施町長の選挙における選舉運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第64号 小布施町職員定数条例の一部を改正する条例について	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第65号 議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第66号 特別職の職員で常勤の者の給与に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第67号 小布施町職員の給与に関する条例及び一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第68号 小布施町一般会計補正予算について（6,840万円）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第69号 新型コロナウイルスワクチン接種事業費の返還金について詳細は。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第70号 安市行事補助金75万円の内容は。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第71号 商工会から寄付金要請があったことから補正計上しました。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第72号 商工会としては毎年実施している事業ですが、今回寄付要請した背景は。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第73号 商工会では努力していますが、不足状況から寄付要請がありました。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第74号 固定資産管理システム整備委託料の内容については。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第75号 固定資産の管理を行う上で、GIS（地図情報システム）による地理的位置を手掛かりに固定資産データの管理を行います。なお、毎年更新作業が伴い経費がかかります。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第76号 令和4年度小布施町国民健康保険特別会計補正予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第77号 令和4年度小布施町介護保険特別会計補正予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第78号 令和4年度小布施町下水道事業特別会計補正予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第79号 令和4年度小布施町農業集落排水事業特別会計補正予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第80号 東北信市町村交通災害共済事務組合規約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第81号 小布施町農業委員会委員の任命	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第2号 安全・安心の医療介護実現のための人員増と処遇改善を求める陳情書	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
発委第8号 安全・安心の医療介護実現のための人員増と処遇改善を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

# 11月会議

会期 11月8日  
原案可決

○補正予算（一般会計） 補正額 9,847万円 補正後額 64億9,443万円

### ■歳入（主なもの）

新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金	他	5,273万円
電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金	他	3,686万円
長野県生活困窮世帯緊急支援金	他	888万円

### ■歳出（主なもの）

価格高騰対応おぶせ生活応援券事業費（おぶせ生活応援券）	他	5,273万円
電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金事業費	他	4,574万円

### ○その他議案

工事請負契約の変更	令和4年度（令和3年度繰越）小布施町立小布施中学校トイレ改修工事	
・変更契約金額	1億4,392万円（増額 642万円）	
・アスベスト調査検体の増及びピクトサイン工事増額に伴う変更契約		

増員要求に対し、一定の抑え（超過勤務時間数が当該課で一定指標値を超えた場合等は許容）等は考慮しないのですか。

A 具体的な指標値というより、業務量及び業務内容等を総合的に審査し職員の増要求に対応していくと考えています。

■議案第65号 議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

■議案第66号 特別職の職員で常勤の者の給与に関する条例の一部を改正する条例

■議案第67号 小布施町職員の給与に関する条例及び一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例

■議案第68号 小布施町一般会計補正予算について（6,840万円）

Q 新型コロナウイルスワクチン接種事業費の返還金について詳細は。

A 受診者の見込者数より少なかったための減理由で、負担金の返還574万円、補助金返還27万円となります。

Q 安市行事補助金75万円の内容は。

A 商工会から寄付金要請があったことから補正計上しました。

Q 商工会としては毎年実施している事業ですが、今回寄付要請した背景は。

A 商工会では努力していますが、不足状況から寄付要請がありました。

Q 固定資産管理システム整備委託料の内容については。

A 固定資産の管理を行う上で、GIS（地図情報システム）による地理的位置を手掛かりに固定資産データの管理を行います。なお、毎年更新作業が伴い経費がかかります。

■議案第71号 令和4年度小布施町下水道事業特別会計補正予算（13万円）

■議案第72号 令和4年度小布施町農業集落排水事業特別会計補正予算（△366万円）

■議案第73号 令和4年度小布施町水道事業会計補正予算

■議案第74号 東北信市町村交通災害共済事務組合規約の変更



## 議会議員行政視察研修(令和4年度)

令和4年10月24日から26において視察研修を行いました。

### ●茨城県水戸市 子ども発達支援センター

子どもの発達に関する相談、就学前までの子どもへの療育指導、保育所・幼稚園等巡回指導を主体とした支援センターの活動状況を視察。

水戸市では、少子化や子どもの貧困、子どもの居場所確保などの子ども・子育てに係る行政課題に迅速に対応するため、福祉部・保健医療部・教育部の三つの部局に分かれていた事務事業を、令和4年4月にこども部として統合・創設した。

「水戸市こども発達支援センターすくすく・みと」では、主に子どもの発達に係る保護者からの相談、支援が必要な子どもの療育指導、幼稚園などで対応が難しい子どもへの巡回訪問指導を行っている。

### ●茨城県東海村 子ども発達支援センター

子どもの発達に関する相談や支援を行う東海村子ども支援センター「はなのわ」の活動状況を視察。

「はなのわ」の施設は、既存の建物をリノベーション。狭い空間を工夫し、子どもたちが過ごしやすいように作られていた。

### ●福島県楢葉町 チャイルドシート等購入奨励補助金交付制度

チャイルドシート・ベビーシート購入者に対し補助金を交付し、購入費の一部を補助する子育て支援制度の概要を視察。

楢葉町は、東日本大震災及び東電原発事故により4年半全町避難を余儀なくされた。避難指示が解除された後も、帰町した町民は高齢者の比率が高い状況にあり、若い世代を中心とする生産人口の増加が大きな課題となっている。

チャイルドシート等購入補助のほか、町独自の子育て支援として、出産祝い品のプレゼント、3人目以降出産から一人につき30万円の支給、子育て世帯が新築した場合の100万円の奨励金の支給、町外の高校への通学定期券の100%助成、無利子の奨学資金の貸与、子育て支援アプリ「母子モ」の導入等、手厚い取組を行っている。震災からの完全復興は、町の子どもたちなくしてならないとの信念が感じられる。



こども部の担当者から説明を受ける。



「はなのわ」職員の説明を受ける。



2022/10/26

## 職場環境等調査特別委員会は職場環境の実態について中間報告を行いました

職場環境等調査特別委員会は、令和4年6月会議において設置され、この2年間の町職員の亡くなられた複数事案の事実を重く受け止め、職員の労働状況等を把握し働きやすい職場環境の改善につなげることを目的に、職場環境の実態を調査、検証を進めてきました。

本会議（令和4年12月16日）において、職場環境等調査特別委員会の中村委員長から小林議長あて、内容と経過について中間報告を行いましたので、その概要を次のとおりお伝えします。

記

### 1 特別委員会の調査・検証内容と経過

- (1) 開催状況 令和4年7月以降 18回開催  
第1グループ 組織編制と人事異動に関すること  
第2グループ 時間外勤務削減等に向けた業務改善や職場環境改善に関すること  
第3グループ 死亡した職員等の勤務実態とその背景等の調査に関すること
- (2) 調査の概要
  - ① 職員アンケート調査の実施
    - 勤務実態とその背景等に関すること、組織編制と人事異動などに関するアンケート
    - 調査期間 令和4年11月1日（火）～令和4年11月11日（金）
    - 回答状況 358名（会計年度任用職員含む全職員）中、185名（回収率51.7%）
  - ② 時間外勤務削減等に向けた業務改善等の提言に伴う資料収集
    - 資料提供先……小布施町総務課
    - 提供資料
      - ・過去5年間の常勤及び常勤以外の職員数の推移に関する資料
      - ・過去5年間の常勤職員の時間外勤務実績に関する資料
      - ・過去5年間の現職死亡職員の時間外勤務状況に関する資料 他

### 2 調査等の進捗状況について

- ① 職員アンケート調査……………検証作業を実施中
- ② 町提供資料に基づく検証等……課題等について論点整理中

### 3 今後の取組等について

引き続き、アンケート調査結果を基に必要に応じ関係者への聴取り調査、分析を行い職場環境改善の提言に向け、取り組んでいきます。  
また、委員会として再発防止に向けて具体的な方針等の検討を進め、良好な職場環境づくりに努めています。今後、最終報告書として提言します。

# 視察 議員会 研修会

## 議会 会員会 活動



着水井と配管室施工中



配水池内部



バイオ炭化実験装置の説明



生ゴミを堆肥化に実証実験

小布施町低区配水池更新工事の工事進捗状況について、議長ほか議員8人、事務局2人と町建設水道課職員による視察研修を行い、雁田地区内に建設中の低区配水池更新工事の現在の進捗状況は40%で、令和6年5月中旬に完成し各家庭に配水するとの説明を受けました。

配水施設の規模は、配水池（RC造、内部は天井、壁、床共に全面ステンレス鋼張り）の2槽にて合計で2,200m<sup>3</sup>の水槽、他RC造の構造物は、着水井と配管室2棟、また、各種配管工事の長さ約530m、土木工事として、擁壁工事や敷地整備等々、今後の施工状況を工事担当者から資料を基に説明を受けました。

### 小布施町低区配水池更新工事を視察 (令和4年12月14日)

### 実証試験を視察 (12月14日)

## 議会議員研修

### 実証試験を視察

### 実証試験を視察

町フラワーセンター敷地内にてバイオ炭化・炭化装置1基（スチール製、W2.1m×D2.25m×H1.9m）による実証試験を視察、栗のイガや剪定木（柿・松他雑木伐採）が見事に炭化（スミ）に、特に栗イガにおいては、形がそのままの炭化状態（蒸焼き）であった。また、生ごみ堆肥化の実証中においての説明を、担当者から受ける。更に今後の展望として皆さんから提供された、野菜くず、魚肉類、米ぬか、もみ類等々を堆肥化にし農家や菜園家の興味のある方に販売を目指して行くとのことでした。（議長ほか、参加議員8人、事務局2人）

### ●宮城県山元町 東日本大震災と復興の現状に

東日本大震災を起点としたまちづくりの現状について視察。

山元町は、東日本大震災の大津波で町内全域の約40%（住宅地60%・農地約70%）が消失するという壊滅的な被害を受けた。

一日も早い復旧・復興を目指し、「スピード・量・質」が問われる中で、従来の手法にとらわれず、震災前からの課題解決も含め、約8年間で一般会計約50年分に相当する事業を実施した。



山元町が誇る旨いもの、優れた产品、特有の文化などを山元ブランド「やまほど、やまもと」としてブランド化し、PR。

### ●宮城県東松島市 震災復興伝承館

災害復興伝承館は、東日本大震災の教訓を後世に伝えるため大津波が襲った旧野蒜駅プラットホームを震災遺構とし、旧駅舎を改修して伝承館として設置した。語り部が、震災の記憶と教訓を後世に伝えようべく、生々しい津波の状況と復興に力強く歩む姿を語ってくれる。九死に一生を得た者でしか知りえない語り部の話は驚きの連続であった。



震災復興伝承館



語り部から東日本大震災の話を聞く。

### ●宮城県東松島市 災害用マンホールトイレ

マンホールトイレ設立の経過と現状について視察。

大震災時においてのトイレ対策の重要性・必要性の教訓からマンホールトイレを導入。災害時に避難所になる市立小・中学校、公園等への設置・整備を進めている。マンホールトイレは、下水道に直接汚物を流すので、汲取りの必要がなく、災害時の利便性が高い。



### ●宮城県女川町 東日本大震災と復興の現状

震災からわずか1か月後に、「女川の町は俺たちが守る」として、100年先の子どもたちが誇れるまちづくりを目指して、「女川町復興連絡協議会」が発足。協議会は、計画・企画・活動の中心は、30代から40代の若者に任せ、「還暦以上は口出すな。後方支援に尽力する」とした。沿岸部は居住できない商工業地域とし、高台を削り集合住宅・戸建て住宅を集めた居住地域とした。



海を見ながら集いにぎわえる町の居場所としてシーパルピア女川が作られた。

※なお、各議員の報告書は町立図書館まちとしょテラソで閲覧できます。

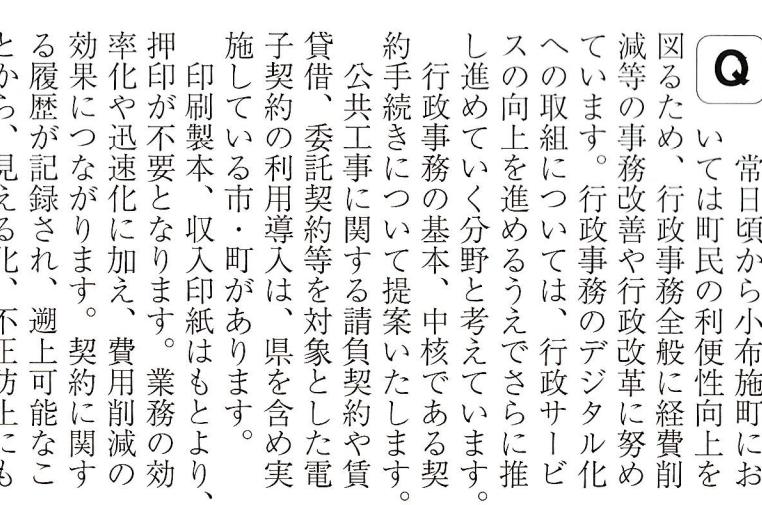


**A** 役立つことから、導入すべき事務とを考えますが、見解を伺います。併せて、先に一般質問しました一般競争入札の検討状況についても伺います。

# 地域公共交通の 在り方について

**A** 道路運送法に基づく協議機関として、「小布施町地域公共交通会議」を設置し、北陸信越運輸局長野運輸支局や県企画振興部等の関係行政機関、交通事業者及び地域代表の皆様から多角的にご意見をいただいています。県では「長野県公共交通活性化協

A 先のE.N.会議で主な話題を検討し、今後、町の方針性を定めた上で見直しを進めてまいります。施設の必要性、町の財政状況など総合的な視点で検討を行い、町の公共施設用地の借地料の見直しなど議論していくこととしています。



行政事務のデジタル化へ新年度に向け更なる取組を

100

費用対効果等から慎重に考えてまいりま

での一元的な入札情報の取得や談合の不正行為防止等、一定の効果が期待されます。なお、初期導入費用は、最低600万円、ライセンス費用が加算、更に導入後の維持管理保守費用等は約数百万円が見込まれます。当町での指名競争入札件数は年間約100件で、システム導入を図った場合、入札・契約事務の効率化等が期待できず、費用面におけるデメリット等から導入を慎重に考える必要があります。

なお、一般競争入札の導入に関しては、組織体制や費用対効果、入札内容に応じ、一般競争入札や特定建設工事共同企業体を導入するなど、臨機応変に対応してまいります。

Q 小布施駅、都住駅を活用しての観光需要創出策、通勤・通学の乗客増加策はもちろん、貨客混載の可能性等について幅広く論議すべき時期と考えます。乗降客数や収支確保策、財政負担等、一定の数値目標を踏まえ、子どもや高齢者、自動車運転免許返納者などの移動手段策の確保や長野電鉄線へのSuica（ICカード）の早期導入に伴う利便性向上策、また、市町村運営有償運送の充実を図るため、長野電鉄、タクシー等に関わる関係機関や近隣市町村との検討を進め、小布施町でのまちづくりの中でも、いかにどう活用するかを視点に新年度以降の施策に反映すべきと考えます。

議会」を設置し、公共交通計画の策定に向けて協議を進めています。小布施町では、この計画の取組の方向性を踏まえ、町の現状や長期間的な視点で、町の公共交通について議論を進めてまいります。



## 堀川小学校プール脇のトイレの現況

栗が丘小学校校庭ブーレ  
脇のトイレは大変環境が悪い、また評判もよろしくない。町として建替えの考えは。

平成4年3月に建築、学校としての必要性は低い状況であり、今後、町の指向性として公衆トイレとして、改めて再整

必要な箇所に適正な配置ができるよう検討していきます



東松島市  
東日本大震災時、下水道を利用したマンホールトイレ

#### 換気が要い総合体育館内のトイレの現況（男・女共）





## シニアクラブ「しめ縄作り講習会」

我が国は少子高齢化が年々進んでおり、小布施町でも人口一万989人のうち65歳以上の高齢者は3千770人で、高齢者率は34.3%です。高齢者になれば歩行速度、握力などの運動機能、生活機能、知的機能などが低下し、病気の受療率や死亡率が高まります。しかし、高齢者でも健康であればセカンドライフを趣味やボランティア活動等で地域貢献もでき、

小渕 晃議員

# 高齢者の「健康で豊かな老後」のための支援策を

地域、行政が一体となつて  
高齢者対策に取り組んでまいります

有意義な老後を送ることができました。  
よつて高齢者の皆さん、ご健康で心豊かな老後をお過ごしいただきたく提案をいたします。

高齢者になれば歩行速度、握力などの運動機能、生活機能、知的機能などが低下し、病気の受療率

や死亡率が高まります。

ミュージアムの入館料が、無料です。その利用状況は。

たい。  
A

## 北斎館の野外トイレの 早期の設置を

町も関わり今年度中には  
イメージを固めてまいります

北斎館の屋外トイレが、この秋突然解体されました。

A  
ら北斎館までの道、そして駐車場内は歩行者と車とのエリア分けがされておらず、接触による事故の危険性が高いと指摘をいただいています。歩くエリアと車を中心のエリアを明確にし、北斎館駐車場と周辺一帯を総合的に考え、小さな公園のようにできればと構想しつつ、北斎館と協議し、その中でトイレも完備してまいります。3月までに全体のイメージを固めるよう努力をします。

このトイレは昭和61年に新設され、当時の「トイレ100選」にも選ばれ、町民にとつて自慢のトイレでした。北斎館によりますと「施設の老朽化により維持管理が困難となり、併せてコロナ禍後の観光ニーズの変化の状況を踏まえての解体であるとのことで、トイレについては令和5年以降に公設トイレの新設なども含めて別途協議していくます」とのことです。

北斎館周辺は小布施観光の中心地であり、小布施に来られる観光客への「おもてなしの第一歩」です。早急に公設トイレを設置すべきと考えます。

「繋ぐ」「整える」「育む」の施策を新年度予算編成にどのように盛り込んでいくのか。「町公共施設等総合管理計画」「町公共施設個別施設計画」を確実に実行していくためには「大規模建設事業資金積立基金」を計画的に積み立てていく必要があると考えます。令和3年度のように当初予算千円、決算1億8千万円というのではなく、当初予算から精度の高い計画性をもつて予算編成すべきですが、見解を伺います。前年度決算で執行率の低い事業がありましたが、そういう事業に対する予算編成の考え方は。小布施町議会では9月会議での令和3年度決算承認の後、10月20日付で「令和5年度予算要望書」を町長に提出させていただきました。11項目について要望いたしましたが、それぞれの項目について、新年度予算編成にどのように反映させるのか伺います。

異常気象により災害が甚大化、頻発化する中、防災の取組を一層強化しなければと考えております。「心と身体の健康」と「防災と安全」は令和5年のみならずこれから的小布施町の大きなテーマになります。「整える」の小布施町を現代の湯治場に、とそれに関連して「繋ぐ」の農商工連携を引き続き進めてまいります。「繋ぐ」で「若い力を繋ぐ」をあげておりますが、「町内版若者會議」のような、皆様の意見を伺いつくりたいと思っております。来年4月には「子ども家庭庁」が発足される予定ですが、町においても令和6年度には「子ども家庭支援センター」を設置したいと考えており、来年度にはその開設に向けた準備を進めてまいります。「防災と安全」につきましては、災害発生の一要因である気候変動対策として、今年度策定いたしまし

た「小布施町環境グランドデザイナー」に基づき取組を進めております。公約である「すべての人にとって豊かで幸せな町に」を実現する手段を予算化するとともに、第6次総合計画で掲げている各種施策事業を着実に進めてまいります。

「公共施設等総合管理計画」「個別施設計画」は真に実効性のある計画となるよう長期的な視点にたち令和5年度予算編成の中でも十分に議論し、明確な方向性をお示しできるよう具体的な計画にしていきます。執行率の低かった事業についてでは、経常的に例年と同じ予算規模を要求していいか、事業の趣旨と実施方法等を査定で確認しながら適正な予算と事業規模にしていきます。議会からの予算要望書については、11月開催した令和5年度予算編成方針説明会で職員に対し要望書を提示し、十分な検討を行い来年度の予算に反映する必要あるものは要求するよう周知しました。予算書発送に合わせて回答書を提出させていただきま



大島孝司議員

桜井田長  
益満企画財政課長

## 令和5年度予算編成方針は

「心と身体の健康」「防災と安全」が  
これから的小布施町の大きなテーマです

7

ほかの成分に影響があるのではないか、抗生物質耐性遺伝子が使われていてそれが削除されているかがまだ分からぬなど不安の原因になり、予防原則に則つて子どもたちのために受け取らないほうがいいのではないかと考え勉強している町民の皆さんがいます。

① 小布施町や教育委員会に情報は入っていますか。

② 当町の施設で希望するかどうかのアンケートがあつた場合の対応はどうされますか。

③ 今後アンケートがあつた場合は入っておりません。

工ネルギーの地消地産のため、里山の利活用促進のために薪ストーブ、ペレットストーブの利用も必要です。また、再生可能エネルギー利用、生ゴミ処理に対しとの対策も必要です。

① 利用者を増やすために補助金交付をする考えはありますか。

② 当町ではペレットストーブ、薪ストーブ購入に対しての補助金交付の考えはありますか。



## ペレットストーブ

ス社がギヤバが多く含まれるようゲノム編集されたトマト苗を日本全国の福祉施設に今年から、小学校には来年度から無料配布する計画を進めています。ギヤバはトマトが害虫に食われたり、ストレスが多くなった時に一時的に増えますが、ゲノム編集トマトは生育中はずつと増え続けますので、ほかの成分に影響があるのではないか、抗生物質耐性遺伝子が使わ

おりません。  
③ 安全であるかが確認されていないので受け入れることは考えていません。

③ しての補助金交付の考えはありますか。

A ①・② 地域内における自家消費型太陽光発電設備、ペレット、薪ストーブなど県の環境分野に係る補助制度を有効活用して検討していくます。③ 今年度実施したコンポスト制

②・③ 募金集めの変更を検討していますか。募金箱の設置を検討していますか。

① 各自治会の集金方法については概ね把握しています。

② 令和5年より自治会を通じてお願いしている募金方法を見直し赤い羽根募金は自治会に集金をお願いし、他3つの募金は公

竹内淳子

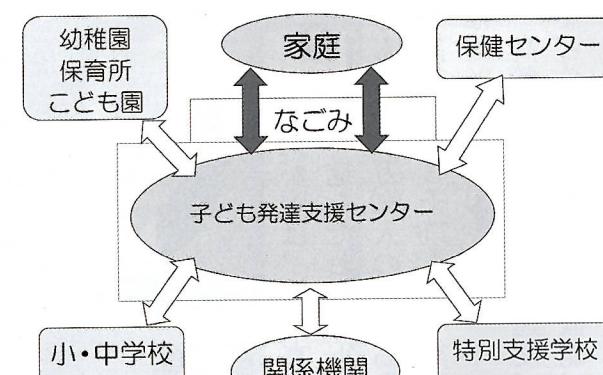
ゲノム編集作物苗の配布に伴う町の対応は

卷之三

**長**  
安全であるかが確  
受け入れるこ

されていないので  
こは考えておりません

い、自治会費に上乗せしている  
隣組ごと隣組長が集めているなど  
様々です。あくまでも任意の募金  
集めのお知らせであることから、  
募金集めの方法を検討していきます  
か。



## 東海村子ども発達支援センター議会視察

子ども家庭支援センター」を設置したいと考えています。来年度においては必要な環境整備を進めていきます。課や係を繋げる「総括支援員」の働きが重要となります。町民にとってのワンストップサービス、事務事業の一元化による迅速な対応に繋がるよう検討していきたいと考えます。

(町長) ここに住まわれている方が幸せに生きる、そのためのサポートをすることが行政の役割であります。子どもにとっても豊かな教育、誇りに思える町づくりが必要です。国の構想も大切ですが地域や自治体が抱える問題に現場

行き届いた保育の実践を  
目指します

Q 子どもや子育てを取り巻く社会状況の変化は著しくコロナ禍による出生率低下も影響し、少子化にますます拍車がかっています。しかしながら保護者の保育園ニーズは高く特に0歳から2歳児に多いわけですが、来年度の入所申込状況、保育士の確保、苦情解決体制、つすみ保育園の建替え計画など子育て環境の実に向けて伺います。また、待機児童数の調査には含まれない隠れ

には保育士や保育室の確保が課題です。町苦情解決に関する要綱に基づき苦情解決体制を配置しています。各園長が保護者からの申出を受け付け教育委員会へ報告し対応を検討し解決に努めています。つすみ保育園の建替えは駐車場に隣接する用地の購入に向け話し合いを行っています。次年度から建築のプロジェクトチームを立ち上げ意見交換を行い合わせて他園の視察も実施したいと考えます。知識者を交えての準備会議も視野に建設替えに向け設計業務、建設費など詳細の検討を行い具体的な推進計画を立ててまいります。

Q 国の「ことも家庭庁」構想の意義をどのように考え

の倉詰が必要となるが見解を作ります。また「発達支援センター」

きることが大事と考えます。小規

中村雅代議員

## 子どもに特化した部署の創設を

新たに「（仮称）子ども家庭支援センター」を設置し事務事業の一元化による対応に繋げます

**A** 待機児童現象が当町でも起きているのではないか、実態を伺います  
申込みを受けた段階で、

国は「子どもの貧困対策の推進に関する法律」を成立させ、その後「子どもの貧困対策に関する大綱」を閣議決定させました。その中で基本的な方針として地方公共団体の「子どもの貧困対策計画づくり」などの取組の充実を定めています。住民に最も近い自治体がきめ細かな取組で実情を把握し、計画づくりを進め、様々な支援に生かすことが重要だと思います。

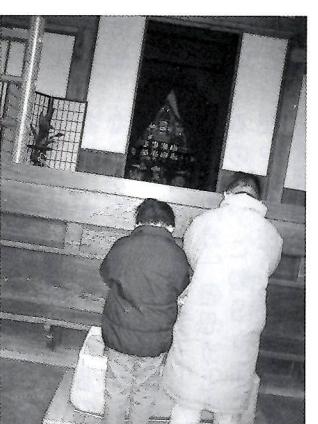
そこで伺います。

① 現在長野県内では14市2町7村で「子ども・子育て支援事業計画」が策定されていますが、当町

備する事が筆頭であると考え、順次体制を整え、「子ども子育て支援事業計画」に基づき、必要な対策を構築していきます。  
②③ 実態を把握したうえで、個々に対応できるケースワーカーを配置し、事態に即した対応や解決策を見出していけるかが重要な一つ課題と認識しています。

また、今後、新たな取組を進めるためには、保健師のほかに障害福祉サービスを調整する社会福祉士資格を持つケースワーカーや常勤の「子ども家庭支援員」などの配置が必要と考えています。

目は「多様性」を認め、育みます」とされ、また、重点施策の中には「子どもを中心とした地域の連携づくり」・「多世代と繋がり合う地域づくりの推進」・「地域共生社会を支える見守りと体制づくり」など、多くの場面で「つながり・交流」という言葉が使用され、「総合計画のキーワードとなっています」。しかし、近年、地域住民同士の交流の機会が減少し、繋がりが薄れてきたと言わされており、新たな関係、つながりを通じて交流人口を増やし、多様性を認め合う地域社会づくりを進めていくことが求められます。



祈る子らの未来が平穏でありますように

先進国43か国で上位から  
7番目の高い位置です。経済的貧  
困は子どもの学習の機会や様々な  
体験活動を奪い、低学力、低学歴  
が生じやすく、さらに職業選択に  
による低い所得による貧困の世代間  
連鎖を生じさせてていると言われて  
います。

② 子供の貧困の実態を調査・分析し、対策を充実すべきと考えますが、町のお考えは。

③ 町は従来から様々な支援事業に取り組んでいますが、今まで手の届かなかつた分野など、今後新たな取組を検討していますか。

多様な絆つくりの形を  
幅広く交流できる機会づく  
りが必要と考えています



關 悅子議員

## 子どもの貧困対策は

永井健康福祉課長

## 子供を育む環境を整 必要な対

備する体制を整えて  
来を構築していきます

められて います そこで 伺 います  
① これから の 新たな 「 地域の 紣  
づくり 」 と 「 交流・地域の 活性化 」  
を ど の よう に 考える か お聞き しま  
す。

スによりますと、小布施町の販売農家数は565戸で、このうち専業農家は198戸、農業を主とする兼業農家は82戸、農業を従とする兼業農家は322戸とあります。

この数字から見ると、企業に勤めながら休日に農業に従事している方が多いことが推測されます。このような方の中で定年を迎える本格的に農業を始めようと考へている方や、また定年にはまだ年月があるが親が高齢となり跡を継いで所有する農地や機械を活用して早めの第二の人生を考えようとしている方、更には町外に暮らし定年を機にUターンして農業を始めた方など背中を押し、不安なく就業していただけたための支援策が必要ではないかと考えます。

わっていただきことで、遊休荒廃地の増加防止や担い手不足の解消にもつながるのではないか。

特に、定年には間があるが親が高齢となり、所有する農地の維持をどうするかなどで悩んでおられる方も多いのではないかと思います。仮に50歳前後で就農に踏み切った場合、高収益が望める作物や省労働作物への転換も可能な年代です。このような方たちの不安や心配を取り除いてあげる支援策が必要です。

支援策として、

① 技術習得や新規販路開拓のためのJAや農業大学校、支援機関などが開催する講座や研修の紹介及び受講経費の補助

② 先進地視察研修等の紹介・斡旋及び経費補助

④ フォークリフトなど農業機械の技能講習受講経費補助などが考えられます。

小布施町では、これまで新規就農者の皆さんには国の制度とも相まって積極的に支援してきました。これら的新規就農者の皆さんも農業に意欲ある方たちとシニア世代の定年帰農者の支援を両立して農業立町を標榜する小布施町の農業の振興を図るべきと考えます。

A 定年を契機に家業である実家の農業を継がれたり定年を控えて第二の人生を考え町外からのUターンやIターンにより本格的に農業を始めようとす々々など、いわゆる定年帰農者はこれから的小布施町の農業を支えていただく大切な扱い手であります。

対する支援に関してはこれからですが、初めて向き合う農業に対する不安の解消、やりたいことや困ったことを相談できる体制や仲間づくりといった面での支援が大切になつてくると考えています。

今後、技術習得のための様々なセミナーや講座を積極的にお知らせするとともに、帰農者同士がお互いに情報交換や相談をしあえる場を設けていきたいと考えています。

県の支援センターやJAはもちろん、産業振興課内の農地相談員や担当職員も丁寧に相談に応じ、帰農者の皆さん、それを支援する関係機関から課題や意見を伺いながら、実のある支援策について一緒に考え具体化させていきたいと思います。

宮崎産業振興課長補佐  
実のある支援策について  
具休化させていきたい

実のある支援策について  
具体化させていきたい

## 定年帰農者などに支援を

であると考えています

た布施町ではここ10年ほど、新たな農業の担い手として、国の制度も活用しながら新規就農者に対する支援を積極的に行ってきました。

# 栗ガ丘小学校6年生 議会傍聴感想文

## 特集

どのような議会を開いているのか、質疑応答の様子などを見に行きました。最初の質問内容は、物価が高くなるこの時期、生活支援のため灯油代補助を求めるという内容でした。町民全員のことを考えて、生活を支援すべきと主張していました。他にも、帯状疱疹予防ワクチンに関する質問もしていました。その後の質問した内容は、小布施町のトイレの改革はといたしました。これについては、小布施町の人々や観光客のためにトイレを新しく建て替える必要があると主張していました。観光地で和式はどうか、ペーパーがなくなつていているため予備を多めになど、利用した人たちの意見を聞きとり、質問をしていました。私は、議会見学は初めてだったのでどんな感じで議会を行つてているのか気になり、実際に見てみたり、聞いたりしたら、町民などの意見を聞いたりして、質問をしていてすごいなと思いました。たよれる議員の方々だと思いました。

講  
議  
会  
見  
学  
**6年2組 湯本 天馬**  
僕は社会の勉強で国会についてや県市町村について勉強しました。そしてこのまえ、小布施町役場で行われた議会を見学に行きました。  
僕は役場に行くとき、議会つてどんな感じなのかなと想像して、役場に向かいました。ニュースでやつてあるみたいな感じかなと思つていました。そして初めて議会をおこなつている現場に行つた瞬間、すごい緊迫した空気で僕はすごく緊張しました。全然想像してなかつた。緊迫した空気だったので、すごくこの

6年2組 高津 里名 嘿  
私のクラスは、12月8日本曜日に役場で議会見学をしました。議員は、物価の値上げのことや、帯状疱疹予防のワクチンについて質問していました。私は、議員の質問を聞いたて町民が暮らしやすいようになる質問をしていました。私は、議員の質問を聞いていたときには、帯状疱疹予防のワクチンの質問を聞いたことがあります。研究結果をもとに質問していくので、帯状疱疹で苦しんでいる方のことを考えて、質問していると思いました。

次の議員は、小布施のトヨレのことについて質問していました。私は、議員の質問を聞いて町民だけではなく、観光客の人のことも考えた質問になつていていました。私は、議員の質問を聞いて町の人や観光客の人の中でも、町の人や観光客の人の話を聞いたと話していました。

議員は物価高の支援や  
帯状疱疹予防ワクチンの助成  
について質問して、健康福祉  
課長が答えていました。それ  
を繰り返していました。  
質問する人は制限時間があ  
り事務局長の横にあるタイマー  
が終わるまでしか質問が  
できません。答えているとき  
はタイマーは動きませんでし  
た。  
議長が答えたい人を当て  
て、事務局長がタイマーを止  
めていました。会場の雰囲気  
は、すごく緊張感があつて、  
僕たちは当たり前だけど一言  
も喋れる状況ではありませんでした。

6年3組 矢島由萌

初めて、議論を聞きまし  
た。場内は、静かで、思つて  
いたよりも、せまかつたで  
す。議題は、「子育て環境の充  
実を」でした。私は将来、保  
育士になりたいと思つてい  
て、とても勉強になりまし  
た。つすみ保育園育ちで、建  
て替えの話が出た時は、思  
出が全てなくなつてしま  
うで、びっくりしましたが、仕  
児童の安全性を考えると、仕  
方ないのかなと思いました。  
わかば保育園、栗が丘幼稚  
園、つすみ保育園の中では、来  
年度の入園者数が一番多かつ  
たのがつすみ保育園で47人で

町議会を見学して、小布施町の十二月八日に、小布施町の議会を見学しました。議会を見学して、小布施町は、様々な問題をかかえているんだと思いました。小布施町の観光客の移動しゆだんの問題や、小布施の公共施設についての問題、小布施町の借りている土地の問題などをかかえていることを知りました。これららの問題を解決するため、たくさんの議員の人たちが、考えて、意見をぶつけ合つて、いることが分かりました。問題を解決するために努力していることがすごいと思いました。

この小布施町の明るい未来のために、たくさんの人たちが、今ある問題を解決しようとした。問題を解決するためには、なんばつていて、姿を、この見学で見ることができました。ぼくたちも、小布施町の明るい未来のためにがんばつていきたいです。

うに感じました。話の内容は、私には何を話しているか難しくてわからなかつたけど、町のために質問をしてすごく考へてくれるんだなと思いました。

いつもは、ふつうに過ごしているけれど、すごく考えてくれる人がいるということは、外から見ていている役場つもは、わかっているけど、すごく考えてくれる人がいるということがあります。かかる見学しました。

町議会を見学しての感想  
6年1組 関谷 百華

十二月八日、十一時ごろからわたしは町議会の見学をしました。どこで会議をして、いるのかも今まで知らなくて、初めて町議会に對しての関心を持ちました。議場に入つたのが会議のと中からで話の流れが分かんなくて焦りました。それと質問する人は三十分の持ち時間がある、ということが分かりました。それがとにかく、議会には最初自分が思つた。それと質問する人は三十分の持ち時間がある、といふことに、議会には最初自分が思つていて、びっくりしました。それだけ小布施町に對してしつかり議論をおこなつていて、それが分かりました。議論の内容が「ICカード」とか「公共交通機関」とか「AさんとBさんが」と、本当に話している内容が分かりませんでした。こんなに少しの単語しか分かりませんんでした。でも、今回見学して小布施町に対しての関心ができたよな気がしました。

小布施町の議会の会議を聞いてみた感想



緊張感

卷之三

## 町議会を見学して

四  
四  
雨

の 中 で こ ん な に 大 切 な す ご は

議会見学の感想

し難しかつたのですが、小布施町二番地に

した。保育士の人が、大変になるのではないかなどと思います。議論をしていく時に、夕方まで走っていきました。

二三月

みんなのための議会  
6年3組 金近 茉子

それには、黒い細長い四角の所に、名前が書いてあってかつてこ良かつた。30分のタイマーがスタートする時に、議長の隣にいた副議長みたいな人が、リモコンを押すとスタートして、もう一回押すと止まっていてやりたいなあ思つた。あたり前だと思うけど、みんな姿勢が良くて、質問だつたりをする時、必ず、「はい、議長」と言つていた。質問する人たちがたえなくて、学校のじゅ業みたいだつた。子育てで環境の充実をこれは、社会全體に関わることだと思う。小さい子たちは、まだなにも分からない。だからこそ、保育園には、必要だとと思う。そのために、人材や、場所、環境が整い、児童へのミスマッチも無くしてほしい。こういうことは、保護者が一番ねがつて、国会議事堂のデカさを知つた。

取るのはいいと思った。子供も、大人も、かがやける保育園を造つてほしいです。

「みえないところで」  
6年3組 太田

「みえないところで」  
議場に入った瞬間、静寂な空気につれて、議場の緊張感が高まつてくる。議会が始まると私は、とてもおどろいた。私は、くりがおか幼稚園からわかば保育園に移動した経験があるが、途中入所が断る事例があることを知ったからだ。保育室がない、保育士が確保できないなどは、なかつたからかもしれないが、途切れないうちに、途中入所が断る事例がある。そこで、私は、とてもおどろいた。私は、くりがおか幼稚園からわかば保育園に移動した経験があるが、途中入所が断る事例があることを知ったからだ。保育室がない、保育士が確保できないなどが原因だそうだ。今年度も十五件断り、育休、休職の延長や、他の園を進めたりして、いるということだつた。また、上の子と同じ園に行かせたいといふ親がほとんどの定員がうまつてしまふこともあるそうだ。私の家もそうだったため、あたり前のことだと思つていたが、みえないところで苦労して進めてきた人々がいたんだと、分かつていたのが改めて思つた。もしかしたら、親や町の関係者の人がいたんだと、分かつていたのが改めて思つた。

「意見をもつすばらしさ」  
6年3組 小渕 由佳理  
会場に入った瞬間に、それまでの雰囲気とちがって、とても静かで緊張感がただよっていました。  
質問の解答に、質問者の人がうなずいていたりしていて、自分が疑問に思つたことに対する返答に納得していなかったなど伝わってきました。  
私は、わかば保育園を卒園しているが、3つの保育園の子が集まります。つすみだつした友達の情報だと少し古いうらいで、つすみが増えてほしいの通える子が増えてほしいので、計画からしつかり立てほしいと思いました。  
私は、苦情体制に感する質問に感心をもちました。質問に対する解答で、苦情を受けつけてるのが園長さんで、解決するのが教育次長さんらしいです。しっかりと連携をとつて苦情の対処をしていてすごいと思いました。  
私は子供たちのために自分との時間を使つて町に意見をもつているのと、てもすごいことだと思います。自分の意志を持つ人になりたいと思います。  
コロナ禍による保育士不足で、子育て環境が悪くなつてきています。少子化につれて、少子化にますます拍車がかかりつてしまつてしまふ。小布施町においても保育士に関する苦情が寄せられました。

す。人材確保を優先とし、スキルや資質、適正を欠いた人材を確保しても、こういった問題は解決できないと思つて います。少子化に勢いがつく中でも保護者や保育園のニーズは高いそうです。それでいて待機児童数は、減つてきている中で隠れ待機児童は増えてきているそうです。

おぶせ町では、働く職場への不満や雇用形態への不満があり、ミスマッチが原因で離職者が増えてきているようです。

ぼくは、町がこういつた問題や不満、苦情などを解決し、よりよい町づくりにつとめてくれるとうれしいと思つて います。



しでも、体を動かそつと思ひました。

発行責任者 議会広報常任委員会

議長 小林一広

委員長 寺島弘樹

副委員長 関良幸

委員 水野貴雄

小林 関浩洋

正子 悅子